

# 第1回臨時会 予算決算委員会（全体会） 会議録

=====

日 時 令和7年2月3日（月曜日）

午前10時17分開会、午前11時44分閉会

場 所 第1委員会室

---

## 日 程

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 審査内容

議案第2号 令和6年度土浦市一般会計補正予算（第6回）について  
～一般会計歳入全部

4 閉 会

---

## 出席委員（23名）

委員長	平石	勝司
副委員長	矢口	勝雄
委 員	竹内	裕
委 員	寺内	充
委 員	古沢	喜幸
委 員	吉田	千鶴子
委 員	海老原	一郎
委 員	篠塚	昌毅
委 員	小坂	博
委 員	鈴木	一彦
委 員	今野	貴子
委 員	島岡	宏明
委 員	勝田	達也
委 員	目黒	英一
委 員	奥谷	崇
委 員	福田	勝夫
委 員	平岡	房子
委 員	根本	法子
委 員	田中	義法
委 員	滝田	賢治
委 員	吉田	直起
委 員	菅井	歩美

委員 柳澤 健二

---

欠席委員（1名）

委員 下村 壽郎

---

説明のため出席した者（7名）

市長公室長	山口 正通
総務部長	塚本 哲生
保健福祉部長	羽生 元幸
産業経済部長	塚本 隆行
教育部長	加藤 史子
議会事務局長	櫻井 良哉
財政課長	瀬古澤 時人

---

事務局職員出席

次 長	元川 宏
次長補佐	小野 聡
主 査	津久井 麻美子
主 幹	高橋 陽平
主 事	古宮 英剛

---

傍聴者（0名）

---

○平石委員長 ただ今から、予算決算委員会を開会いたします。本日は、本臨時会において、当予算決算委員会へ付託されました議案第2号令和6年度土浦市一般会計補正予算（第6回）のうち、歳入等についての審査を行います。この全体会での質疑は、歳入についての質疑のみでお願い致します。歳出については、分科会において審査をお願いいたします。また分科会終了後、再度、全体会を開催し、予算決算委員会としての結論をまとめますので、よろしくお願ひいたします。早速ですが審査に入ります。「サイドブック」、「本会議」、「令和7年」、「第1回臨時会」、「事前配付資料」、「議案第1から7号」を御準備願ひます。それでは、議案第2号令和6年度土浦市一般会計補正予算（第6回）第1表歳入歳出予算補正歳入全部を議題といたします。執行部より説明願ひます。

○瀬古澤財政課長 それでは議案書42ページの第1表歳入歳出予算補正の歳入を御説明させていただきます。詳細の説明の前に、先ほどの全協のほうでも御説明いたしましたが、今回の補正予算の主な特徴としましては、昨年12月17日に成立いたしました国の補正予算に伴いまして、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、いわゆる重点支援地方交付金と呼ばれる交付金に係る事業費を計上しております。ちなみに重点支援地方交付金は、エネルギー食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者等を支援するものでして、物価高に最も苦しむ低所得者の生活を守るために措置された低所得者世帯支援枠分と、地方自治体が地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施するための推奨事業メニュー分に分かれておりまして、本市への交付限度額は低所得者世帯支援枠分が6億8,366万8,000円、推奨事業メニュー分が2億5,876万8,000円の合計9億4,243万6,000円となっております。その他、人事院勧告に伴う人件費の増額補正がありましたので、これらの経費に充てられる歳入について増額計上しております。それら歳入補正の内訳につきましては表にございますとおり、16款国庫支出金は、重点支援地方交付金による8億6,594万4,000円の増。20款繰入金は収支不足の財源補填のため、財政調整基金繰入金2億2,419万円の増となりまして、合わせて10億9,013万4,000円を増額計上しまして、総額を617億3,951万7,000円とするものでございます。詳細について御説明いたしますので、47ページをお願いいたします。16款国庫支出金、4項国庫交付金につきましては、合計の補正額の欄にございますように、8億6594万4000円を増額計上するものでございます。1目民生費国庫交付金につきましては、重点支援地方交付金の低所得世帯支援枠分に当たるもので、住民税非課税世帯に支給する1世帯当たり3万円。同世帯に18歳以下の子供がいる世帯には子供1人当たり2万円を加算する給付金や、給付に係る通知文等の郵送料システム改修委託料などの費用については全額国庫支出金が充当されることから、その財源として説明欄にございます重点支援地方交付金、6億717万6000円を計上するものでございます。その下、5目商工費国庫交付金につきましては、重点支援地方交付金のうち推奨事業支援枠分に当たるもので、こちらは物価高騰の影響を受ける地域経済の活性化を図るため、1世帯1セット5000円で7000円の商品券を購入できるプレミアム付き商品券を発行するための補助金等を計上しており、その費用の一部に充当する説明欄にございます重点支援地方交付金1

億7,086万円を計上するものでございます。その下、7目教育費国庫交付金につきましては、重点支援地方交付金のうち推奨事業支援枠分のプレミアム付きつき商品券発行事業に充当した残りの分となるもので、令和5年10月から継続して実施している土浦市立の小学校、中学校、義務教育学校の児童生徒の給食費の無償化分の財源としまして、説明欄にありますとおり、重点支援地方交付金8790万8000円を計上し、一般財源からの財源更正を行うものでございます。これにより、推奨事業メニュー分の本市の交付限度額2億5876万8000円につきましては、全額充当するようになります。つづきまして20款繰入金、2項基金繰入金、一目財政調整基金繰入金につきましては、重点支援地方交付金活用事業のほか、人件費の増額補正がありましたことから、今回の一般会計補正予算においては、歳出が歳入を上回ったことにより、財源に不足が生じますことから、不足分2億2,419万円を財政調整基金から繰り入れるものでございます。以上が令和7年第1回臨時議会の一般会計補正予算の歳入の内容となります。よろしく願いいたします。

○平石委員長 それでは、御質問ございますか。

○篠塚委員 国の交付金の推奨事業分についてお伺いをいたします。本市では商工費と教育費のほうに、振り分けしてるんですが、プレミアム付き商品券として1億7,000万、残りが学校給食と、何でこの事業の中で、推奨事業の中でこの二つを選んだかという理由を説明していただければありがたいと思います。

○山口市長公室長 推奨事業メニュー分。なぜこれのプレミアム付きつき商品券と小中学校の給食費の無償化に充てたかといった御質問かと思えます。推奨事業メニュー分の中に生活者支援というのがございまして、その中に消費下支え等を通じた生活者支援というのがございまして、それがプレミアム付きつき商品券に当たるかと思っております。重点支援地方交付金は物価高騰の影響を受けている生活者や事業者に対する支援を目的というふうになされておまして、その両者を支援できるのはプレミアム付きつき商品券の発行事業かなというふうに思っております。当事業によりまして市内の全世帯に交付金を還元できるということでプレミアム付きつき商品券が選ばれたということでございます。それから市立の小中学校を給食費の無償化の財源に充てるということでございますけれども、こちら推奨事業メニュー分の中にエネルギー食料品価格等の物価高騰に伴う子育て支援と子育て世帯支援というメニューのほうがございまして、これに沿った形で重点的配分をしているということでございますけれども、こちら給食費の無償化、令和5年度の途中から行っているかと思えますけれども、その時から賄材料費のほうはかなり高騰しておまして、5年度6年度7年度と、やはり物価高騰の煽りを受けて右肩上がりです上昇してるところでございます。財政的に考えますと、こちらの給食費に全額充てればという考えもある、ないことはないということでもございますが、せっかくこちら国のほうから交付金のほうに来てるといこともございますので、ある程度当然のことながら市民に還元しなくてはならないということでプレミアム付きつき商品券の発行の残額を給食費のほうに充てさせていただいたということでございます。以上でございます。

○奥谷委員 今あったプレミアム付き商品券の確認なんですけれども、これまで何度かコロナ禍の中でも実施をしていただけていますが、前回もちょっとやりとりをさせていただいたんですけれども、これ商工会議所が間に入っていていただけて実質的な事務はおそらく委託するような形に、同じような形だと思えるんですが、前回も負担をしていただいた事務的な関係の手数料については、今回も行政で負担をしていただくというような考え方でよろしいのか。確認です。

○塚本産業経済部長 ただ今の御質問でございます。事務委託につきましては事務等一式、会議所にまたお支払いするというを新たにこのプレミアム付き商品券に参加いただける商店等をこういったものもまた募りますので、そういう部分もございますので、またお支払いするということになります。

○奥谷委員 事業者が商品券を商工会議所に持っていった際の換金の時に、今までは、以前は手数料、事業者から徴して、その差引分を入金をされてたと思うんですが、前回その負担も全て市でやっていただきたいということで、市のほうで関係の手数料については持っていたと私は記憶してるんですが、今回もそのような形で事業者の換金時の手数料は行政が負担ということでよろしいんでしょうか。ちょっとそこだけもう一度確認させてください。

○沼尻商工観光課長 ただ今の御質問ですけれども、前回と全て同様な形で事業を執り行うというふうに考えております。以上です。

○勝田委員 私もちっとプレミアム付き券に関して伺いたいと思います。今回の還元率は5,000円で7,000円だから2,000円だと思うんですね。これまで何度もプレミアム付き商品券をやってきた中で、当初の始まった頃の還元率からだんだん上がって、倍ぐらいまで。5割か土浦は。自治体によってかなり倍ぐらい出してた所もあると思うんですね。何でそんなことしてたのかを今思い出すと、還元率が低いと実際に全世帯に届けるつもりでも、御利用する人が低いってようなことがあったはずなんです。この5,000円で2,000円の還元率に関して需要というかですね、これは還元率が高いほうが需要が多いというのは、これわかりやすい話なんですけれども、そのあたりを考えるとちょっと効果がどうなんだろうというふうに思うんですけれども。御議論された中で、それはどのようにお考えですかあとは今までと同じなんですけど、1回で募集ができなければ、例えば2回目、3回目、複数世帯にやっていくというようなことなんになるのかなと思うんですけれども。その効果が還元率と考えると、ちょっとどうなのかなと思うんですけど。その辺り、どのようにお考えだったのかなと。

○塚本産業経済部長 ただ今勝田議員からプレミアム付き率による購買に対する意欲の部分、御質問いただきました。直近実施7回分。平成27年からちょっと手元のデータなんですけど、27、28、29とプレミアム付き率は20%、10%、10%とこういった率で販売をしておりました。その後、令和2年、3年、4年、5年ということで、ここから50%、100%、100%と言う非常に高いプレミアム付き率で発行をしたわけですが、この部分につきましてはコロナ対策という非常に大きい命題がございまして、外出控えによる商店とか、そういう事業者救済というのも非常に大きい目的で

あったということでございます。それ以前のプレミアム付き率が20%が10%の時でも一応販売率は100%。おっしゃられたように再販そういったことも含めてになるかと思うんですが、今回の5,000円で7,000円とプレミアム付き率40%ということでも消費行動の喚起ということにはなるものと考えてそういったことから、2,000円、40%のプレミアム付きということを設定したというものでございます。以上でございます。

○勝田委員 分かりました。次ちょっと公室長に伺いたいんですが、厳しい財政運営の中で市の考えは選択と集中だっというお言葉と、もう今回広く全世界帯に届けるっていうまあそれが必要じゃないと私は思わないけども、ちょっと矛盾するような気がするんですが、そのあたりのお考えどうですか。

○平石委員長 財政状況大変厳しい状況でございますので、こちらのほうを市の財源のほうはなかなか厳しいということもでございます。今回は国のほうから交付金という形でお金のほうがおきてきているという実態もでございます。この中で先ほども申し上げましたけれども、給食費の無償化自体がですね、賄い材料費がかなり高騰しているということで、以前よりも無償化の額がかなり大きくなってきているという実態がございまして、財政的には先ほど申し上げたように給食費の無償化に挙げさせていただいたほうが財政的にはいいわけでございますけれども、各自治体に、お金のほうが配布のような形で交付金として交付されているという中で、市民への還元が何もないというのも、執行部側こちらの行政側としてもなかなかちょっと難しい点がございましたので、今後、市の財政事情事情を大変厳しい状況でございますので、次年度からは、こういった交付金があればまた話は別ということもございますけれども、ない場合、市の財源の中で何かを考えていくという中では、当然のことながら先ほど申し上げたように選択と集中をさせていただくしかないのかなというふうに考えてます。今回は交付金の事業ということでこのような形で事業をさせていただきたいということでございます。以上でございます。

○勝田委員 すいません。たびたびこれは考え方の違いなので、説明はわかりました。ありがとうございます。

○目黒委員 給食費の件で質問させていただきたいんですけども、賄い費ということで、完全食材のみに使用するというので。一応確認ですけど。

○山口市長公室長 賄い材料費のほうに充当のほうさせていただきたいというふうに思っています。

○目黒委員 そうしますと、これ期間ですかね。令和7年度に使用するとは思いますが、今現状、すごく、特にキャベツなんか、もう毎日のテレビで高騰のニュースが流れているんですけども、先行してちょっと早めに利用するとかそういった考え、もしくはまだ来年度のそういう物価高騰が予想される時期に、集中的にそこに当てるとかそういった計画とかはございますでしょうか。

○山口市長公室長 はい。今年度いただける交付金につきましては今年度の財源に充てたいというふうに考えております。これ来年度の事業費に充てても結果は一緒だということですので、とりあえず今年度に充てさせていただきたいと思っております。賄い材料

費の件で何度かちょっと御質問のほういただいておりますけれども、無償化に係る経費でございますが、今年度は従前に皆さんにお話させていただいておりますけれども、大体約無償化分が4億4,000万円程度だったと思いますが、今来年度の事業費、予算のほうを作成しておりますけれども、賄材料費が高騰しておりますして給食費自体も値上げをするような形になるのかなということでございますと、大体5億は超えていく金額のほうが無償化の経費になるというふうに考えておりますので、ちょっと御理解をいただければというふうに思います。以上でございます。

○鈴木委員 今回の予算の歳入に対しての振り分けはこれでいいとは思いますが、メニューの中で生活者等を事業者支援とあったと思うんですけども、今、小規模事業者は、まず電気代燃料費の高騰でかなり苦しんでいます。そこに来て、人件費も上がってきてるってということで、大きな会社は体力がある所はそれでも対応できるかもしれないけど、実際今私の抱えている団体、商工会なんかでは小規模事業者が多いんで、かなりその部分で苦しんでるという所があるので、今回そういう視点での考え方っていうのがなかったのかっていうのを、お尋ねしたいのが1点と、あと次回こういうことがあれば、ぜひそっちの小規模事業者の視点というのも考えて予算を作っていただきたいということを、こっちは要望です。

○山口市長公室長 以前にも臨時交付金のほうをいただいたときに、物価の高騰によりまして、事業者支援ということで医療機関ですとか介護施設、それから障害福祉施設、それから農林水産業、貨物自動車の運送事業者といった形にこちらのほうを運営を継続するための支援ということも行ったことがございます。今回交付金の額に限りがあるということで、たくさんの方々に、支援を行き届かせることがなかなか難しいということもございましたので、今回はプレミアム付つき商品券のほうを選択をさせていただいたという事情でございます。以上でございます。

○平石委員長 その他、よろしいでしょうか。

(「なし」の声あり)

○平石委員長 それでは賛否を確認いたします。この予算の歳入について、賛成とする方は挙手をお願いいたします。

(賛成：全員)

○平石委員長 全員賛成ということでございますので、議案第2号、第1表歳入全部については全員賛成ということでございます。それでは次回の予算決算委員会全体会までに委員長報告をまとめてまいります。この委員長報告書に盛り込みたい内容等はございますでしょうか。先ほど様々御意見いただきましたけども一応一任ということで、報告書のほうは取りまとめてまいりたいと思います。それでは御意見もないようでございますので、第2号議案の歳出についての分科会を開催をお願いいたします。また分科会終了後の全体会を再開いたします。総務市民分科会は第3委員会室。文教厚生分科会を第2委員会室産業建設分科会は第4委員会室にてお願いいたします。それでは暫時休憩といたします。

【休憩：午前10時41分】

【再開：午前 11 時 32 分】

○平石委員長 ただ今から予算決算委員会全体会を再開いたします。審査の流れについてでございますけれども、歳入と分科会の報告を行い、報告に対する質疑を行った上で、予算決算委員会としての採決を行います。その後報告書をまとめてまいりますので、よろしく願い申し上げます。それでは「サイドブックス」、「予算決算委員会」、「令和 7 年」、「2 月 3 日開催」の御準備をお願いします。それでは、協議事項の審査に入ります。議案第 2 号令和 6 年度土浦市一般会計補正予算（第 6 回）の歳入から順に審査の経過と結果について報告を行います。御報告申し上げます。議案第 2 号のうち、付託されました歳入の審査における主な内容を申し上げます。第 16 款国庫支出金は、国の物価高対策に係る重点支援地方交付金の増であります。第 20 款繰入金は、収支不足を補てんするための財政調整基金繰入金の増であります。全ての審査が終了したことから、賛否を確認したところ、全員原案に賛成でありました。以上で報告を終わります。つぎ、サイドブックス「総務市民分科会長報告書（補正予算）」をお開きください。それでは総務市民分科会長より御報告を願います。

○奥谷総務市民分科会長 御報告申し上げます。議案第 2 号のうち、付託されました総務市民分科会所管分の審査において、議論された主な内容について申し上げます。歳出の主な内容につきましては、各款におきまして、令和 6 年度人事院勧告に伴う人件費増額について、補正するものであります。全ての審査が終了したことから、当分科会に付託されました議案第 2 号の歳出に対して、賛否を確認したところ、全員賛成でありました。以上で報告を終わります。

○平石委員長 つぎに、サイドブックス「文教厚生分科会長報告書（補正予算）」をお開きください。それでは文教厚生分科会長より御報告願います。

○矢口文教厚生分科会長 御報告申し上げます。議案第 2 号のうち、付託されました文教厚生分科会所管分において、審査された主な内容を申し上げます。第 3 款民生費は、国の重点支援地方交付金により、低所得者支援を追加的に拡大するための負担金補助及び交付金の増などであります。上記の内容のほか、各款におきまして、令和 6 年度人事院勧告に伴う人件費増額について、補正するものであります。第 2 表繰越明許費は、物価高騰対応重点支援給付金給付事業について、次年度へ繰り越すものであります。全ての審査が終了したことから、当文教厚生分科会に付託されました議案に対して、賛否を確認したところ、全員原案に賛成でありました。以上で報告を終わります。

○平石委員長 つぎに、サイドブックス「産業建設分科会長報告書（補正予算）」をお開きください。それでは産業建設分科会副会長より御報告願います。

○今野産業建設分科会副会長 御報告申し上げます。議案第 2 号のうち、産業建設分科会に付託されました所管分において審査された主な内容を申し上げます。第 6 款商工費第 1 項商工費、第 2 目商工業振興費は、地域経済の活性化を図るため、国の重点支援地方交付金を活用して、プレミアム付き付商品券発行事業を実施することによる補助金の増であります。第 5 目観光費は、土浦市産業文化事業団の給与体系が市職員給与条例に準じており、同条例が令和 6 年度人事院勧告に基づき引上げが行われることに伴い、人

件費増となることから、同事業団への補助金の増となるものであります。以上の内容のほか、各款において、本年度の人事院勧告に伴う人件費の補正であります。第2表繰越明許費は、プレミアム付き付商品券発行事業について、次年度へ繰越すものであります。全ての審査が終了したことから、当分科会に付託されました議案第2号の歳出に対して賛否を確認したところ、全員原案に賛成でありました。なお、第6款商工費、第1項商工費、第2目商工業振興費においては、プレミアム付き付商品券発行事業に代わる国の重点支援地方交付金の有効な活用方法について、調査研究を行うようにとの意見があったことを申し添えます。以上で報告を終わります。

○平石委員長 各分科会長報告への質疑や御意見はございますか。

○海老原委員 お聞きします。申請受付期間が、令和7年2月下旬から令和7年5月31日までとなっておりますが、この広報方法についてどういうふうになるのか教えてください。

○矢口文教厚生分科会長 その点に関しての質問は、特に委員会の中ではございませんでした。

○平石委員長 その他ありますでしょうか。

(「なし」の声あり)

○平石委員長 それでは、質疑は出尽くしたようでございますので採決いたします。議案第2号は原案とおりに決することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○平石委員長 御異議なしと認めます。よって議案第2号令和6年度土浦市一般会計補正予算第6回は原案とおりに決しました。ここで委員長報告に盛り込むべき事項ございましたら、御意見のほうをお願いいたします。

(「なし」の声あり)

○平石委員長 それでは、議案第2号の委員長報告書の取りまとめを行います。サイドブックス「予算決算委員長報告書(議案2号)」をお開きください。では、朗読させていただきます。

○平石委員長 御報告申し上げます。本臨時会において、当予算決算委員会に付託されました、議案第2号令和6年度土浦市一般会計補正予算(第6回)につきまして、執行部から詳細な説明を求め、慎重に審査いたしました。以下、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。今回の補正は、歳入歳出それぞれ10億9,013万4,000円を追加し、総額を617億3,951万7,000円とするものであり、国の交付金を活用した事業など、当初予算に見込めない事業費を補正計上するものであります。まず、歳入の主な内容について申し上げます。第16款国庫支出金は、国の物価高対策に係る重点支援地方交付金の増であります。第20款繰入金は、収支不足を補てんするための財政調整基金繰入金の増であります。つづいて歳出の主な内容について申し上げます。第3款民生費は、国の重点支援地方交付金により、低所得者支援を追加的に拡大するための負担金補助及び交付金の増などであります。第6款商工費、第1項商工費、第2目商工業振興費は、地域経済の活性化を図るため、国の重点支援地方交付金を活用

して、プレミアム付き付商品券発行事業を実施することによる補助金の増であります。第5目観光費は、土浦市産業文化事業団の給与体系が市職員給与条例に準じており、同条例が令和6年度人事院勧告に基づき上げが行われることに伴い、人件費増となることから、同事業団への補助金の増となるものであります。以上の内容のほか、一般会計の各款におきまして、令和6年度人事院勧告に伴う人件費増額について、補正するものであります。第2表繰越明許費は、物価高騰対応重点支援給付金給付事業や、プレミアム付き付商品券発行事業について、次年度へ繰越すものであります。以上のことから、採決の結果、全会一致で原案どおり可決すべきものと決しました。なお、第6款商工費、第1項商工費、第2目商工業振興費においては、プレミアム付き付商品券発行事業に代わる国の重点支援地方交付金の有効な活用方法について、調査研究を行うようにとの意見がございましたことを申し添えます。以上で報告を終わります。以上となります。報告書の内容はこちらでよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○平石委員長 では、このあとの本会議において委員長報告をさせていただきますが、本会議での委員長報告に対する質疑はできません。質疑がある場合は、この場でお願いします。

(「なし」の声あり)

○平石委員長 それではこの内容で報告させていただきます。なお、字句その他の整理を要するものにつきましては、その整理を予算決算委員長に委任されたいと存じますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」との声あり)

○平石委員長 ありがとうございます。それでは以上で予算決算委員会を閉会いたします。大変お疲れ様でした。